



広報 あくな

第376号

住民基本台帳人口と世帯数 (4月1日現在)			
人	口	30,212	(-363)
	男	14,083	(-136)
	女	16,129	(-227)
世	帯	9,268	(+32)
		()	内は前月比

昭和43年9月20日 第3種郵便物認可・毎月1回10日発行
昭和53年5月10日 鹿児島県阿久根市役所編集発行1部10円



5月号

「阿久根は国防上の要衝の地」と金丸防衛庁長官(左)に陳情する坂元市長

駐とん地決定 大詰め

陸上自衛隊の駐とん地誘致を強力に進めている本市では、四月二十六日坂元善文市長、栢庄吉典議会議員、牛之濱水雄市議会議長、岩崎国蔵商工会議所副会頭の四氏が上京。翌二十七日金丸防衛庁長官を訪ね「熊本と国分の中間にあり、朝鮮半島に近い阿久根は国防上の要衝の地。しかも人情豊かで自衛隊に對しても協調的な土地柄。是非駐とん地は阿久根に」と強く要請しました。

金丸防衛庁長官は「度重なる陳情に感謝している。駐とん地選定は国防上の点から幕僚監部の意見を尊重したい」と述べ、決定の時期は「このままでは誘致を表明している関係市町に多大な迷惑をかけるので、早い機会に選定したい」と表明。白熱した自衛隊誘致合戦も、いよいよ最後の決りを迎えました。

市民憲章

- 一、お互いにあいさつをかわし、みんなに親切をつくします。
- 一、時間ときまりを守り、住みよいまちをつくります。
- 一、花や緑を育て、きれいな郷土をつくります。
- 一、すすんで教養を高め、文化のまちをつくります。
- 一、元気で働き、明るい家庭、豊かなまちをつくります。

自衛隊鹿県誘致、で一本化

関係市長らが知事に申し入れ

先行する宮崎を追う

駐とん地選定は知事に一任

陸上自衛隊の誘致運動を進めている阿久根、出水、垂水の三市長、議長は五月一日鎌田知事と小里県議会議長を訪問。「鹿児島県への自衛隊誘致実現を固く働きかけてほしい」と要請するとともに、県内の駐とん地選定については、知事に一任することになりました。これで十市町でのきをけずっていった県内の自衛隊誘致運動は一応の結着が付き、こんごは宮崎県と鹿児島県との誘致合戦へと発展、事態は新しい局面を迎えています。



鎌田知事に「誘致運動の一体化」を申し入れる坂元市長ら

県内で陸上自衛隊の誘致を表明しているのは阿久根、出水、川内、垂水、名瀬の五市と知覧、金峰、古松、横川、福山の五町。

一方、宮崎県はえびの市と西郷市が誘致を表明。宮崎県はえびの市への誘致に絞って運動を展開。黒木知事や瀬戸山法務大臣を中心に県選出の国会議員らが、一体となって強力にバックアップ、有利に運動を進めています。

これに対して鹿児島県は、五市五町が個々バラバラに誘致運動を展開、各市町がしのぎをけずって悪戦苦闘の誘致運動を進めてきました。

県内の誘致合戦がエスカレートするにつれて、えびの市一本に絞って誘致運動を進めている宮崎県有利へと事態は進展、かねてから「県内の乱立は宮崎県を有利にす

るだけ、早急に一本化を」と喝喝してきた坂元市長は駐とん地決定も間近いと見て「これでは共倒れの公算が大きい」と判断。四月二十日国民宿舎「あくね」で、宮崎鹿児島合同市長会の機会をとらえて、誘致を表明している出水、川内、垂水の三市長に「鹿児島県への自衛隊誘致と誘致運動の一本化」を提案、各市長とも了承して、五月一日の申し入れとなったものです。

知事らも誘致に本腰 宮崎とのせりあいへ

自衛隊誘致を表明している県内五市のなかで、名瀬市は台風常襲地帯のため一箇中隊の誘致を希望。他市町の自衛隊誘致に比べ規模が小さく、実質的には駐とん地誘致の運動を進めているのは四市。

五月一日の鎌田知事への申し入れには出水、垂水の二市長や議長のほか、本市からは坂元市長と牛之濱市議会議長が出席。申し入れには出席できなかった川内市も賛同しており、すべてを一任、知事との話し合いとなったものです。

この結果①陸上自衛隊は鹿児島県に誘致する②駐とん地の選定は知事に一任する一などを確認、こんごは鹿児島県選出の国会議員らの応援を得て、鎌田知事や小里県議会議長らが自衛隊誘致に乗り出し、宮崎県との誘致合戦を展開することにになりました。

主な誘致運動

- 2月1日 市長、議長、岩崎商工会議所副会頭の三氏が西部方面総監と第八師団長を訪問し誘致を陳情。
- 2月17日 市長ら三氏が三原防衛庁長官、浜田政務次官、栗栖幕僚長と会談し陳情。
- 4月13日 市長、木村武雄元防衛庁長官、奥野誠亮元文部大臣のほか、県出身国会議員らに協力を要請。
- 5月14日 市長ら三氏、前西部方面総監に協力を要請。
- 6月9日 市長、上京時に防衛庁を訪問し陳情。
- 7月18日 市長、上京時に防衛庁に陳情し、帰途、熊本第八師団長に状況報告。
- 8月31日 市長、議長、岩崎國蔵氏、西部方面総監と第八師団長へ陳情。
- 9月19日 市長、議長、岩崎國蔵、江良英千代の四氏が浜田防衛庁政務次官、丸山防衛庁事務次官、栗栖幕僚長と会談。用地候補地と署名簿を提出し陳情。
- 10月26日 市長、議長、柘原謙の三氏が上京。防衛庁関係国会議員に協力要請。
- 12月12日 市長、西部方面総監と第八師団長に陳情。
- 12月15日 市長、鎌田知事に

市政浮揚の絶好機

一本化に大きな期待

誘致運動のきっかけは五十一年十月の国防会議で、在韓米軍の撤退に伴って日本の防衛網を再編成する際、北海道駐屯部隊の一部を九州西南地区に移動させるとい

う情報が引き金となり、本市では昨年一月二十五日、臨時市議会を開き誘致を決議。時を合わせるように、市内の三十二の民主団体が自衛隊誘致促進協議会（会長・柳庄吉商工会議所会頭）を結成。市民総ぐるみの強力な誘致運動を推

誘致へのあゆみ

し進めていくことになりました。

さっそく二月一日には坂元市長牛之濱市議会議長、岩崎商工会議所副会頭の三氏が、熊本市の西部方面総監と第八師団長を訪問して誘致を表明したあと、二月十七日には坂元市長らが上京。当時の三原防衛庁長官、浜田政務次官、栗栖幕僚長らと会談して「朝鮮半島に面し、熊本と国分の間にある

阿久根は国防上の要衝の地。是非駐屯地を」と要請して以来、強力な誘致運動を続けてきました。

公害のない自衛隊

過疎の歯止めにも

誘致運動の先頭に立つ坂元市長は「隊員家族を含めると二千人以上の人口増。それに隊員の給与だ

けでも三十億円。市民税収入の増大だけでなく、購買力、基地交付税、災害時の出動などメリットは大きく、なによりも公害の心配がない」と強調。その後もたびたび上京して、防衛庁や関係国会議員への協力を要請。精力的な誘致運動を続けています。



昨年2月27日、当時の三原防衛庁長官に陳情する市長ら



昨年9月19日栗栖幕僚長に陳情する坂元市長

長、岩崎推進協議会副会長、江良推進協議会副会長の三氏と上京。九千世帯のうち約八千五百世帯の誘致賛成の署名簿とともに、駐屯地誘致に必要な演習場などの候補地を具体的に示して、阿久根市の熱意をひききました。

その間、木村武雄元防衛庁長官や奥野誠亮元文部大臣らをはじめ県選出の国会議員らに協力を要請駐屯地誘致実現に向けて、精力的な運動を続けています。

宮崎移駐の可能性も

知事らの手腕に期待

一方、県内では十市町が駐屯地誘致を表明。各市町とも過疎脱却、経済浮揚の絶好機と、防衛庁や第八師団へ猛烈な誘致運動を続けています。

なかでも宮崎県でいち早く誘致を表明したえびの市は、誘致期成同盟会を中心に、有権者約二万人のうち一万六千人の誘致賛成の署名を集め、五か所の駐屯用地を準備。黒木知事や県選出国会議員の結束した後押しを受けて、他市町を大きくリードしています。

これに比べ鹿児島県は、各市町による「誘致運動の分散化」が悪影響。このほど合意をみた「誘致運動の一本化」は其例れを防ぐキメ手として期待が大きく、駐屯地決定も間近だけに、鎌田知事を中心に県選出国会議員らの強力な政治力が期待されています。

阿久根駐屯地実現と県内誘致運動の一本化を要請。	12月16日 市長、金丸防衛庁長官に陳情。奥野誠亮元文部大臣、石原慎太郎元環境庁長官らに協力要請。
1月5日 市長、西部方面総監と第八師団長に陳情。	1月27日 市長、山中貞則元防衛庁長官ら関係国会議員に協力要請。
2月1日 市長、議長、柳栗議の三氏が西部方面総監と第八師団長に陳情。	2月17日 市長、議長、柳栗議の三氏が上京。金丸防衛庁長官、竹中政務次官、高品陸幕長らに陳情。
2月24日 市長、議長、岩崎商工会議所副会頭の三氏が西部方面総監と第八師団長に上京報告をかね陳情。	4月18日 飯山茂第八師団長が阿久根で防衛講演会。
4月19日 市長、議長、柳栗議らが鎌田知事を訪問。誘致運動の一本化を要請。	4月20日 市長、鹿兒島宮崎合同市長会で、県内関係市長に誘致運動の一本化を提案。知事への要請を決議。
4月27日 市長、議長、柳栗議、岩崎商工会議所副会頭の四氏が金丸防衛庁長官、高品陸幕長らに陳情。江崎真澄政調会長、河野洋平新自由クラブ代表に協力要請	

第八師団長が講演

市民会館ホールは満席



出水、川内、重水や宮崎県えびの市などと、白熱した自衛隊誘致合戦が続いている本市では四月十八日市民会館大ホールに飯山茂第八師団長を招いて防衛講演会を開き、自衛隊への理解を深めました。

防衛力の必要性を訴える
飯山第八師団長

一般市民五百人の参加を予定していた会場は、たちまち満席となり、二階席まで埋め尽くす盛況さで約千人が出席。自衛隊への関心の深さを示していました。

飯山第八師団長は「世界情勢から見た日本の防衛」と題して、ソ連駐在官時代に体験したチェコ事件を例に、防衛力の必要性を訴え自衛隊の現状を報告したあと「阿久根市は坂元市長を先頭に、市民一体となって熱心な自衛隊誘致運動に努力しており、中央でも高い評価をしている」と述べ、有力な候補地であると示唆しました。

このあと、三十二の民主団体で組織している自衛隊誘致促進協議会は「本市は国防上、極めて重要

な地点であるとの認識に立って、市民総ぐるみの誘致運動を、一段と強力に推進していく」と決議。飯山第八師団長に陳情書を手渡しました。

九州に連隊を増設

金丸防衛長官発表

五月一日金丸防衛庁長官は統合幕僚会議と陸海空の三幕僚監部に對して、本年度予算要求の裏付けとなる「五十四年度業務計画」作成の指針とすべき事項について指示しました。

その中で、五十五年度に機械化師団（北海道千歳市）と第一戦車団（同恵庭市）を合わせて機甲化

師団に新編することを明らかにしこれに伴って一個普通科連隊を編成して九州（場所未定）に配備すると発表。五十四年度から準備に入ることにしており、揺れ動く駐屯地決定は、最後の大詰め段階を迎えています。

農村地域にロードミラー

農業共済連が自賠責還元

県農業共済組合連合会は、このほど阿久根農協を通じて十基、三笠農協を通じて八基、計十八基のロードミラーを寄贈しました。

このロードミラーは同連合会が取扱っている自動車損害賠償責任共済調整準備金から、農村地域の



ロードミラーも事故防止に役

交通事故防止のため寄贈されたもので、自賠責還元は農協だけ。

『みどりの窓口』営業開始

阿久根駅 指定券など即座に

阿久根駅に「みどりの窓口」が新設され、四月二十五日から営業を始め、市民に喜ばれています。



便利になった指定券購入

これまで指定席券などは、そのつど出水駅に問い合わせていましたが、新設された座席自動予約装置（N型）で即座に発表されます。同駅の「みどりの窓口」は、市が長島町、東町、牛深市などの協力を得て、

見島鉄道管理局に陳情していたもので、県内では西鹿兒島駅、鹿兒島駅、出水駅、川内駅につぐ五番目の開設となりました。

誕生 おめでと

出生児	保護者氏名
池上 みか	廣 (寺山)
藤原 健	敬吾 (佐得)
波留 淑恵	和典 (寺山)
寺園 睦美	忠義 (大下)
本 寿志	時義 (大丸)
尾上 広樹	清一 (浦)
下園 嵩宏	栄二 (波留)
山口 ちかこ	陸夫 (府)
波戸 新之介	敏彦 (高之口)
桐原 美樹	實穂 (馬場)
牛之濱節子	長年 (牛之浜)
山岡 宏之	通毅 (大丸)
飛松 淳一	穂積 (大丸)
牛之濱寿賀子	清加 (牛之浜)
谷口 摩里阿	繁 (大丸)
鶴田 大輔	孝治 (田代下)
環菜 智香	一文 (牧内)
恒古 ミサ子	廣市 (永田上)
松岡 美咲	勝弘 (戸)
松尾 真由美	誠藏 (波留)
追田 美智代	博 (大尾)
園田 直哉	直高 (古里)
松本 理沙	高久夫 (黒之上)
松木 タニ子	敬一 (大谷)
田上 美和	征海 (小樽)
深田 あゆみ	義輝 (前田)
濱之上 貴友	大成 (脇馬場)
松崎 ひとみ	正一 (大淵川)
柏木 善則	幸夫 (上原)
竹下 秀夫	隆夫 (筒田)
柏木 勇海	吉明 (桐上)
山口 悠樹	修 (松ヶ根)

青色申告で豊かな明るい都市を

事業所得や不動産所得、山林所得がある人で、毎日の取引を帳簿につけて、その帳簿によつて正確に所得を申告する人は、青色申告控除や青色専従者（家族従業員）給与控除など税金の面で有利な特典が受けられるという制度です。

申告のための帳簿は現金出納帳、経費帳、売掛帳、買掛帳、固定資産台帳の五冊ですが簡便をしている人は、ほとんど売掛帳や買掛帳はつけていませんので固定資産台帳は年末につければよく、現金出納帳と経費帳をつくるだけです。

青色申告をすると税金の面で有利になるだけでなく、帳簿をつけることによつて、経営内容や資金状況がわかり、経営の合理化にも役立ちます。



青色申告の輪を広げようと大会宣言

記帳で経営の合理化を

青色申告都市を宣言

「記帳を通じて経営の合理化と近代化を進めよう」と、四月二十六日市民会館で、青色申告都市宣言大会が開かれました。

大会には市内の商工業者など約五百人が出席。まず坂元善文大会会長が「この大会が産業の飛躍的発展と、豊かな明るい町づくりの一助となることを期待する」とあいさつ。河南商青色申告会会長が「われわれは青色申告制度の意義

を深く認識し、豊かな明るい町づくりを期して、その普及を図り、青色申告の都市づくりにまい進することを誓う」と、大会宣言案を読み上げて採択したあと、坂元善文大会会長が田中青出水税務署長に宣言文を手渡しました。

青色申告制度は昭和二十五年にスタート。商工会の記帳指導の開始とともに青色申告者が増加して昭和二十九年青色申告会を結成。

その後、昭和三十七年には法人会も設立され、法人青色申告者も増加。現在では法人で百五十一事業所、個人で四百三十七人が青色申告を行っています。

毎日の取引を帳簿につけて、正確に所得を申告する青色申告制度は税金の面で優遇されるだけでなく、経営の合理化にも必要で、その普及が期待されています。

田野さんらに感謝状

大会では青色申告の普及などに尽力された田野正治初代青色申告会長など二十八人に感謝状を贈呈しました。受賞者は次のとおりです。（敬称略）

- ▽青色申告会 田野正治、松尾賢太郎、児玉伝、若松光仁、白石建造、貴島文男、上松道治、神川長久、橋崎一二、中村肇、下路武夫、岩田一郎、▽阿久根法人会 柘庄吉、塩田育則、岩崎國藏、松崎厚一郎、折橋伸幸、大田時芳、安川美昭、谷口満衛、平塚正人、▽出水郡たばこ耕作組合阿久根連絡所、宮内文男、▽商工会議所 中村良彦、園田辰雄、飛松純昭、▽専門指導員 花田良一、福島重成、庵秀志

御冥福をお祈りします

- 下藤 コナミ 74 (辰無下) 奥古久保 基行 47 (新町) タマエ中野 傳八 74 (仲仁田) ケサノ花田 長吉 72 (仲仁田) ハナエ野畑 吉蔵 78 (大下) キヨ西園イセマツ 86 (高之口) 奥四和大田貞右衛門 77 (辰無中) キヨノ溝上 松義 66 (内田) ツルエ柏木 ノフ 81 (仲仁田) 清一郎佐藤 ツル 75 (佐野) 濱次福水 ヤエ 84 (永田上) 寛治園田七左衛門 87 (馬場) トメ約井 千代古 50 (永田上) イソノ新町 清二 90 (新町) 清左衛門大野 シヅノ 65 (桐野下) 常利富濱スエギク 92 (藤本茂) 西海山下 藤義 61 (橋之西) シノ山元 清水 48 (藤馬場) 京子川俣 涉 62 (上原) 浪江子

在宅医さん

在宅医の診療時間は午前九時から午後五時までです。急患のかた以外は、ご連絡ください。

- 五月二十一日
 堀切医院 ②0263 (高松)
 内山病院 ③1551 (高松)
 石原医院 ⑤0045 (橋之東)
 五月二十八日
 阿久根内科 ②0578 (新町)
 林 病院 ③0836 (本町)
 濱之上医院 ⑤2600 (藤馬場)

受賞者



牛之浜豊二さん



川崎石右衛門さん



下路武夫さん



野村景次さん



結城タカノさん



北国善吉さん



小島身杖さん



谷口静義さん

▽区長水年勤続表彰 新坂上利助、山下五郎、大曲金喜▽納税功勞者表彰 大曲金喜、黒水勉、岩元新七、倉津武三、赤瀬川寅吉、松下直哉、慶越市蔵、中平次男、別府國義、池脇勝、築瀬修、尾原一治、永原満右衛門、中野武利、鶴田栄、高原重美、児玉利彦、赤坂伍一、上村伝蔵、宮原貞純、平田一男、羽田義成、上野齊造、竹内茂、富吉七郎、牛浜三良、柗治助、柗涉、馬見新止一、牛浜久義、宇都利雄、牛礼安美、神之田種美、中野求、川畑重男、川畑長市、奥平義則、鶴岡保、鶴岡一三、下關与次郎、小田十兵衛、野畑時男、大野文男、園田福義、古賀則雄、寺下嘉左衛門、山平正弘、平石正美、野崎勲、野村三守、跡上休作、北代哲子、内山陽子、斉藤洋三、▽たばこ販売功勞者 尾上清美、橋手光造▽国民年金保険料納入功

勞者 白石千鶴、垂清、中村マサ子、大曲金喜、宮園岩蔵、富永敏治、松元タミ、大橋一雄、岩元新七、倉津武三、田測初高、富永岩吉、嶋矢之助、黒崎重弘、中津浜清、築地新格、赤瀬川寅吉、富吉七郎、東園敏、牛浜三良、柗治助、柗涉、馬見新止一、牛浜久義、連矢美、奥千春、有田佐四郎、折橋巖、築瀬修、尾原一治、永原満右衛門、中野武利、鶴田栄、高原重美、児玉利彦、赤坂伍一、上村伝蔵、宮原貞純、平田一男、羽田義成、上野齊造、松下直哉、慶越市蔵、中平次男、別府國義、村原琢麿、上野義治、池脇勝、大下本松夫、寺脇藤雄、宇都利雄、牛礼安美、神之田種美、中野求、川畑重男、川畑長市、奥平義則、鶴岡保鶴岡一三、下關与次郎、早瀬均、白浜末義、石沢正徳、双津喜六、小田十兵衛、野畑時男、大野文男、園田福義、古賀則雄、前田孝弘、平董、松木幹夫、寺下嘉左衛門、山平正弘、梶尾孫兵衛、早水純雄

権山学、石沢悟、井坂一市、八郷信夫、石沢休次郎、京田勝▽農政功勞者 花木盛盛▽優良小組合 永田上、馬見塚、下村、黒之上▽優良機能集団 園芸振興会被留支部、園芸振興会内田支部、園田果樹部会、大曲甘なつ部会、橋手団地造林組合、尾崎団地造林組合▽農政協力者 松木幹夫、新坂上利助、中村ミチエ、平重雄、池崎順徳、小田正吉、中野行雄、西匂茂、釜正則、尾原一治、木下高信、井坂一市、福水末弘、上野清▽優良農林業者 松林裕臣、宇都勝利、花岡義隆、松崎徳男、大野力、松木水雄、別府国守、石原千代年、宇都清任、園川与志助、赤坂伍一、桃山克明、根比義夫、馬場貞雄、黒崎長次郎、野崎一輪、八郷信夫、八郷力夫、麻原一、中内田次雄、中原一義、堂後俊夫、奥園章、落合智、池崎編義、慶越誠喜、川崎武志、上野義治、京田勝、餅城義蔵、本重夫、川俣イツ子、山元正和、角一雄、石原明善

川畑良治、折橋文雄▽農業後継者 末吉信雄、根比隆雄、京田正人、京田博文▽漁業水揚優良者 神之田実、新町幸男、福淵忠一、西田早苗▽水産加工業優良者 橋口勇尻無造▽水産振興功勞者 牛之浜仙太▽優良店舗 ニシキ屋商店、若松光仁商店、坂上商会、神川葉扇本店、大阪屋衣料店、堀田商店みたらい商店▽優良事業所 虎印スポーツ工業、上野製作所、福水食品、阿久根石油▽優良従業員 稲葉サカエ、野畑正典、黒崎友尚、川俣繁、勝巨克明、藤園吉武、松木彰志▽観光功勞者 本田国定、▽優良建設業者 若松組、築地組三笠興産▽優良農取集協団体 榎山住宅団地▽優良貯蓄団体 若葉婦人会、阿久根市漁協婦人部、西目小学校子ども銀行、阿久根小学校子ども銀行▽社会福祉功勞者 大田庄吉、米次大次郎、若松義光、飯尾眞彌、岩崎知止▽学校教育功勞者 宮本一雄、原口重行、赤崎秀夫▽幼児教育功勞者 興水正人

乳児をいつせい健診

五十二年七月一日から五十二年十二月三十一日までに生まれた幼児を対象に、別表のように乳児のいつせい健診を行います。受付は各会場とも一時から一時半まで。

6/20	6/16	6/15	6/14	6/13	6/9	6/8
2・00 13・00	2・00 13・00	2・00 13・00	2・00 13・00	2・00 13・00	2・00 13・00	2・00 13・00
大丸公民館	三笠中	脇本小	阿久根中	山下小	鶴川内小	阿久根小
					折多小	大川小

月日	場所	対象地区
5.11	三笠支所	脇本
5.12	大丸公民館	大川・西目・鶴川内
5.16	大丸公民館	山下・折多・赤瀬川
5.19	大丸公民館	波留山・高松・上野・浜・新町
5.23	市料倉	大丸・湯・倉津

大洲川の集会所完成

壮年会 土突き唄を復活

「めでたく集会所も完成。これで大洲川の地固めは大丈夫」と、四月八日、藤本大洲川では新しい集会所の完成を祝って、祝賀会を行いました。大洲川は笠山のみもとにある戸数二十戸の小さな集落。終戦後、建てた古い公民館は、雨漏りするなど傷みがひどく、農村振興運動の施設整備事業の助成を受けて、事業費二百四十五万円で購入切ったものです。



「これで大洲川の地固めもできた」と集会所完成を祝う人たち

同地区では市道・市の坂線の舗装工事も完了し、地区民は二重の喜びにひたっていました。祝賀会では婦人会の踊りのほか



旧暦三月十日祭は四月十八日、市内各地で行われ、商港のまち黒之浜では、矢野神社境内で漁船相撲を開き、豊漁と航海の安全を祈願しました。

黒之浜で漁船相撲 青年横綱に大谷さん

壮年会が、この日のために「土突き唄」を復活。「今日は日もし大洲川の土突き」と、めでたい「土突き唄」に合わせて地固めを披露。坂元市長も地固めに飛入り大洲川の発展を祈願しました。



これで雨天体操も大丈夫

昨年十一月着工した山下小学校の屋内運動場が、このほど完成。四月十八日真新しい屋内運動場で完成祝賀会が行われました。同校の屋内運動場は五十三年度建設の予定でしたが、一年早く国の補助を得て、五十二年度末完成を目標に工事を進めていました。新しい屋内運動場は床面積五百三十二・二平方メートルの鉄筋コンクリート造りで建設事業費は四千七百三十一万円。祝賀会では婦人会が虚無僧踊りを披露するなど、校区民総出で屋内運動場の完成を祝いました。

待望の屋内運動場

山下小 校区民総出で祝賀会

雨模様をなかに大漁旗を連ねた漁船相撲には、青年団、消防団などの若者約四十人が参加。まず、青年団全員による組別対抗リーグ戦を行い、B組「福浦徹、佐々木宝、佐々木義人」が優勝。婦人会の踊りや黒之浜児童館の園児の遊びのあと、青年横綱決定戦も行われ、大谷一成さんと佐々木義人さんが決勝戦に進出。大谷さんが初優勝しました。黒之浜では毎年、青年団が催し物を計画、部落総出で三月十日祭を祝っています。また阿久根大島の金比羅神社で



大漁旗を連ねて漁船相撲

は、漁業関係者約十五人が島を訪れ、航海の安全を祈願しました。

人事異動 (五月一日付)

- ▽耕地係主査 松永重信▽建築係主査 遠矢良彦▽土木係主査 東藤香南▽耕地係主査 樋口和雄▽財政係主査 宇都秋夫▽都市計画係主査 鳥飼光明▽農政課参事 石沢涉▽市民課 宮園ツマ、大橋隆佳▽税務課 川上隆雄、坂元義治、黒崎久代、牛浜良彦▽農政課 府弘昭、島久▽財政課 松永泰子、佐藤公臣、大田勲▽企画課 末古優▽保険衛生課 池田真一、新町善徳、黒川佳代子▽水道課 落忠、浜崎優秀、浜崎良一▽土地改良課 大石栄蔵、寺岡薫▽三笠支所 野崎繁利▽議事事務局 尾上美枝子▽道路維持課 小田弘務▽商工水産課 田村良子▽国民宿舎 猿塚ひとみ▽西目小 猿塚裕子▽鶴中横手町志▽鶴小 神川忠雄▽西目小 寺地良加▽大川中 新野政直

社協だより

次のかたがたから、市社会福祉協議会に寄付がありました。ありがとうございます。

- 香典返し寄付(敬称略)
- 柏木昇(仲仁田) 山元京子(藤本馬場) 佐藤福次(佐場) 福永寛治(永田上) 白坂ユキ(本町) 川保浪江子(上原) 釣井イソノ(永田上) 中野次森(仲仁田) 山口吉春(新町) 川畑盛久(川畑中) 有馬純隆(笠山) 上野仁香(上野)

わたしの
お父さん ②

単人小学校4年生
野村 聖 昭



野村 秀 雄 さん

多くのお父さんはおもしろい。おこるととてもこわいが、ふざけるとおもしろい。たん気なところもありです。
お父さんは弟とよくすもうをとります。「こうじ、すもうをとって」といいます。
こうじは一年生です。こうじが

かわいそうなのか、お父さんはまけてやります。また、よくふざけてみせます。しかし、おこった顔を見ると、ほくも弟もすぐににげていきます。
でも、ふざけたり、すもうをとったりして遊んでくれるお父さんが、だいすきです。

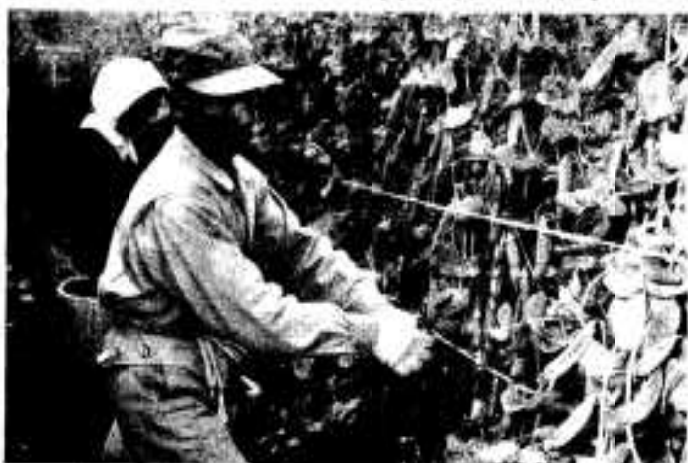
農産物の輸入問題など、内任、外任の強まる農業経営の中で、年間生産量千八百ト、生産高六億円を誇る阿久根市の豆類は、文旦やタケノコと並ぶ農業特産物に急成長。伸び悩む本市農業の救世主

的存在」となっています。 脇本小農の田上淳さん（53歳）も「安定した農業経営は実エンドウが最速」と、十年ほど前から実エンドウを栽培して、自立農業への道を歩いています。

実エンドウをネット栽培

脇本 小 瀬 田上 淳 さん

生産アップと省力化に成功



実エンドウの収穫に忙しい田上淳さん夫婦

この道を行く ④

実エンドウは短期間に収穫するため労力不足と連作障害が大きな悩み。そこで、限られた耕地で生産量を上げ労力不足を補うため、竹支柱からネット栽培に切り換えたのが三年前。更に今年は思い切って二条植えから一条植えに換え品種も成育のよい久留米豊を導入し一条植えによる生産量も克服。従来の約二倍の生産量アップに成功。もうひとつの課題、省力化にも成功して、県内各地から視察団が訪れています。

戸柱神社を清掃
大丸老人クラブ

大丸老人クラブのお年寄りたち十七人は、四月十五日戸柱神社の草払い作業を行いました。

戸柱公園の頂上にある戸柱神社は、別名「温泉神社」とも呼ばれ温泉のまちとして栄えてきた大丸部落が建立したもの。戦後、同公園内に護国神社が建立され、最近では忘れられた存在となっていました。



戸柱神社を清掃した大丸老人クラブの人たち

そこで、見兼ねた大丸老人クラブが清掃作業に乗り出したものでカヤや雑木が生い茂っていた戸柱神社は、久し振りに見違えるようになれました。



困ったときは

「内職補導所」へ

契約より工賃が低かった、支払いが遅れて困る、払ってくれないといったトラブルが発生したときは、鹿兒島県内職公共職業補導所（099-2297218）にご相談ください。内職のあっせんや求人などの相談にも応じます。

経口ポリオワクチンを授与

経口ポリオワクチンの授与を、別表のとおり行います。対象者は五十二年二月十五日から五十三年二月十四日まで生まれた幼児と、四十九年五月十五日から五十二年二月十四日まで生まれた幼児でまだ授与を受けていない人。

月 日	実施地区	時 間	実施場所
5. 24	折多地区を含む 脇本地区全域	午後2時～ 3時	田三笠中体育館
5. 25	本之牟礼を含む 大川地区全域	午後1時30分～ 2時	大川診療所
5. 26	上記以外の地区	午後2時～ 3時	大丸公民館

市内見学バスにどうぞ

申し込みは月末まで

市では老人福祉バスを一日だけ「市内観光バス」に仕立てて、市民の皆さん方を、無料で市内各地に案内する「市内見学会」を計画しました。

この市内見学会は、皆さん方を市内各地に案内するだけでなく、市内のいろいろな施設や事業なども紹介することになっています。

市内に住所のある方なら、だれでも参加できます。市内を見学したい方や市政の現況を実際に見たい方は、子供づれの参加でも結構ですので、この機会を逃さなくご利用ください。

なお、日程や申込み方法などは次のようになっています。



当日は黒之瀬戸大橋も見学

と き 六月十三日午前九時

午後四時 当日は午前九時市民会館集合
募集人員 三十八人 定員に達し次第、締切る。

申込方法 五月三十一日までに電話またははがきで、住所、氏名、年齢を市総務課まで。

その他 国民宿舎で昼食。ただし昼食は各自持参または国民宿舎の食堂などを利用。

野鳥を飼うには許可が必要

野鳥を捕獲したり飼育するには県知事の許可が必要です。これに反すると「鳥獣保護法」違反で処罰されます。野鳥を飼おうとする人は、必ず次のことを守ってください。

捕獲許可の対象となる野鳥 メジロ、ホオジロ、ウグイス、ヒバリ、ヤマガラ、マヒワ、ウソ。

捕獲許可期間 七月十五日から翌年二月末日まで。

捕獲許可の手続き 県環境保全課または出水農林事務所に出向き、「捕獲許可証」の交付を受け、捕獲の際は許可証を携行してください。

い。捕獲したあとは、ただちに捕獲許可証を返納し、かわりに「飼養許可証」の交付を受けてください。なお、飼養は一世帯三羽以内となつています。また、飼養許可の有効期限切れが近づいている人は、期限内に更新の手続きをすませてください。

自衛官を募集

防衛庁では五十三年度第一次自衛官募集を次のように実施しています。入隊をご希望の方は、市民課にお問い合わせください。

応募資格 満十八歳以上二十五歳未満の日本国籍を有する人で、学校教育法に定める欠格条項に該当しない人。

試験科目 中学校卒業程度の筆記試験、身体検査、適性検査および口述試験。

募集期間 男子六月二十日までに、

女子五月二十七日まで

年金を受けている人は現況届を出しましょう

国民年金の支払いを、毎回引き続いて受けるためには、毎年、「国民年金受給権者現況届」を出すことになっていました。

このため受給者には、直接、社会保険庁から届出用紙が送られてきますので、五月三十一日までに市民課国民年金係に提出してください。

届出対象者 障害年金、母子年金、単母子年金、遺児年金、寡婦年金の受給者。

詳しいことについては、国民年金係か川内社会保険事務所にお尋ねください。

農作業標準賃金決まる

五十三年度の農作業の標準賃金が別表のように決まりました。

昭和53年度 農作業賃金標準額

作 業 名	単 位	標準額	
一般農作業	男 1日8時間	3,000円	
	女 *	2,800	
春の機械作業	耕起代から	1毛田 10アール	9,500
		2毛田 *	9,000
	耕起のみ	1毛田 *	6,000
		2毛田 *	5,000
	水田代かきのみ *		4,500
	田植(機械植)	請負者苗持ち *	13,000
委託者苗持ち *		5,000	
秋の機械作業	甘しょ畦立 *	5,000	
	畑耕転 *	5,000	
秋の機械作業	甘しょ堀取 *	3,500	
	水田耕起・整地 *	6,000	
	バインダー *	7,500	
秋の機械作業	麦 1 畝	600	
	粃 *	500	

税の知識シリーズ5

主婦のパートと税金

最近、パートタイムで働く奥さんが多くなっていますが、奥さんのパート収入も、その金額によっては税金がかかったり、ご主人の税金にも影響したりすることをご存じでしょうか。

パート収入が年間七十万円まででしたら、ご主人の税金を計算するときに「配偶者控除」が受けられます。

しかし、七十万円を超えますと控除が受けられないこととなりますし、更に、年間七十九万円を超えますと、奥さんにも税金がかかります。

詳しくは市役所税務課か出水税務署にお尋ねください。

源泉所得税の納期

申請で年二回払い

給与などから源泉徴収した所得税は、徴収義務者が毎月納付することになっていますが、従業員が常時十人未満の店や事務所などでは、税務署に「源泉所得税の納期の特例の承認に関する申請書」を提出すれば、半年分をまとめて年二回(七月と一月)の納付で済ませることが出来ます。

税務署の窓口書類が備付けてありますので、この「納期の特例制度」を是非ご利用ください。